

平成31年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査から見るく

三島の子どもたち

全国学力・学習状況調査とは

全国の小学6年生と中学3年生を対象に行われている調査です。教科（今年度は、小学校は国語および算数、中学校は国語、数学および英語）に関する調査と、生活習慣や学習環境に関する質問紙調査が行われました。

実施日 4月18日(木)

※英語（中学校）は今年度から3年に1度実施予定。

これまで教科に関する調査問題は、主として「知識」に関する問題（A問題）、主として「活用」に関する問題（B問題）とに分けられていましたが、本年度よりA問題とB問題という区分ではなく、知識・活用を一体的に問う問題となりました。



グループで話し合いながら理解を深めます
(算数の授業：北小5年)

【全国・県の平均正答率との比較：凡例は以下のとおり】

対象	教科	全国との比較	県との比較	概要
小学校	国語	🌸	🦋	全国よりやや高く、 県よりやや低い
	算数	🌸	🌸	全国・県よりやや高い
中学校	国語	🌸🌸	🌸	全国より高く、 県よりやや高い
	数学	🌸🌸🌸🌸	🌸🌸🌸	全国より極めて高く、 県よりかなり高い
	英語	🌸🌸🌸🌸	🌸🌸🌸	全国より極めて高く、 県よりかなり高い



～表の凡例～

- 🌸 0.1～2.0ポイント低い
- 🌸 0.1～2.0ポイント高い
- 🌸🌸 2.1～4.0ポイント高い
- 🌸🌸🌸 4.1～6.0ポイント高い
- 🌸🌸🌸🌸 6.1～8.0ポイント高い

生活習慣や
学習環境などの
調査からわかること



生活や学習に関する質問からは、全国や県と比較して、次のようなことがわかりました。

みしまの子のすごさをいこう

- ◎自分には、よいところがあると
思っている子の割合が高い
- ◎学校に行くのは楽しいと思ってい
る子の割合が高い
- ◎人が困っているときは、進んで助
けている子の割合が高い
- ◎授業で、ほぼ毎日コンピュータな
どのICTを活用している割合が
高い
- ◎道徳の授業では、自分の考えを深
めたり、学級やグループで話し
合ったりする活動に取り組んでい
ると思う子の割合が高い

教科についての調査

(国語、算数・数学、英語)

●【小学校】すべての教科で、全国の平均正答率を上回り、算数は、県の平均正答率を上回る結果となりました。

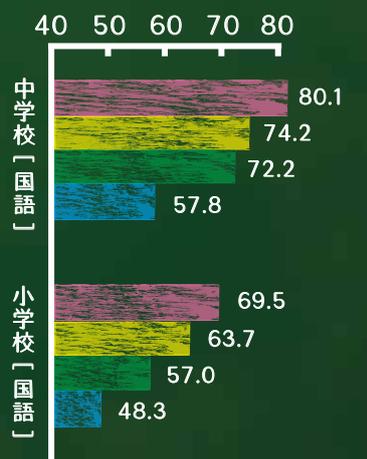
●【中学校】すべての教科で、全国の平均正答率を上回りました。

生活習慣と学力の関係

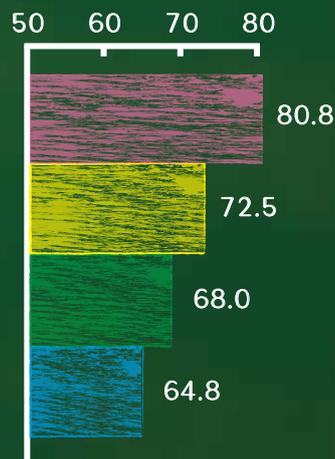
生活や学習に関する質問紙調査の結果と学力の関係を分析すると、各教科の平均正答率が高いのは、次のような子どもたちであるということがわかりました。

- ＊家で、自分で計画を立てて勉強している子
 - ＊新聞を読んでいる子
 - ＊自分には、よいところがあると思っている子
 - ＊読書が好きな子
 - ＊家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしている子
- ※下のグラフでは、生活習慣と学力の関係を表しています。

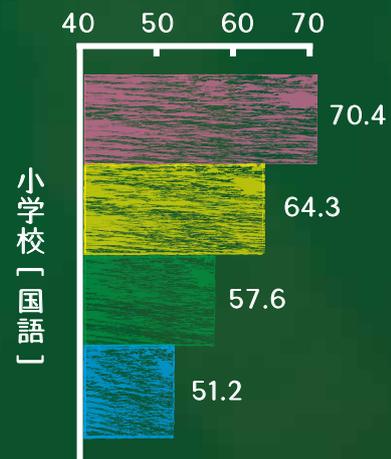
「家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか」の回答と平均正答率との関係（％）



「新聞を読んでいますか」の回答と平均正答率との関係（％）



「読書は好きですか」の回答と平均正答率との関係（％）



- 当てはまる
- ほぼ毎日読んでいる
- している
- どちらかといえば、当てはまる
- 週に1～3回程度読んでいる
- どちらかといえば、している
- どちらかといえば、当てはまらない
- 月に1～3回程度読んでいる
- あまりしていない
- 当てはまらない
- ほとんど、または、全く読まない
- 全くしていない

みしまっ子の伸ばしたいところ

- △【小学生】 毎日、新聞を読むこと（ほぼ毎日、新聞を読んでいる子の割合：全国・県よりやや低い）
- △【中学生】 毎日、同じくらの時刻に寝ること（毎日、同じくらの時刻に寝ている子の割合：全国・県より低い）



▲コンピュータや電子黒板などのICTを活用して理解を深めます（算数の授業：西小1年）

現在、三島市の傾向をより詳細に分析しています。詳しい分析結果は、市ホームページと、小・中学生の保護者向けリーフレットに掲載します。
(いずれも1月中旬予定)

問合せ
学校教育課 ☎ 9833・2671